

# 広報 ひろば **たいせつ**



水稲播種作業始まる(鷹栖地区 石田佑介さん)



## 5月号目次

事業懇談会開催②③

たいせつなここがポイント④⑤⑥

青果物 天候不順時の対策⑥

たいせつHOTニュース⑦

青年部春季交流会

手作り看板等製作コンクール

田んぼアートがアート部門最優秀賞

たいせつ農産物直売所情報「今が旬」⑦

農業者戸別所得補償制度の  
具体的内容について⑧⑨⑩

J A 共済からのお知らせ⑪

理事会からのご報告 他⑫



4/25 ゆめぴりか栽培講習会

 **たいせつ**

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>

# 農協事業懇談会 開催

J Aたいせつの平成22年度事業決算と平成23年度事業計画についてのご意見ご要望を拝聴すべく農協事業懇談会を鷹栖・東鷹栖地区全地域を対象に3月27日から3月31日まで5日間に亘り開催し、懇談会では農協の各部門の事業運営等についてたくさんのご意見等をいただきました。

これらのご意見ご要望について、直ちに理事会等にて検討し役員一体となり今後の事業運営にて反映して参りますので宜しくお願い申し上げます。尚農協だよりでは、当日会場にて直接回答した事項について割愛させて頂き、当日会場にて直接回答した事項について割愛させて頂き、当日会場にて直接回答した事項について割愛させて頂き、当日会場にて直接回答した事項について割愛させていただきます。

## 営農資材部

### 農業振興課

#### 意見

・農業者の高齢化に伴う農地の流動化・担い手不足が心配である。

・耕作放棄地を作らぬような取組みを検討して欲しい。

#### 回答

農業者の減少により年々高齢化が進む中、耕作経営者の離農による農地賃貸借が増加し、地域平均1戸当たり耕作面積も10ヘクタールとなり、第3次農業振興計画の主要項目として地域農業基盤の育成と支援体制の充実を掲げ、将来

において生産者が意欲的に魅力ある農業が展開できるよう取り組んでいますが、最終年となります振興計画の実施方針や進捗状況との整合性を踏まえ、第4次農業振興計画に向けて再度現状把握をし、短期的な実施目標と長期的な取組み目標を整理し、担い手・農地保全等に取り組んで参ります。

## 米穀販売課

#### 意見

・米の検査場統合により混雑が予想されるが、手降ろし出荷についてはスムーズな荷降ろしが出来る対応をお願いしたい。

・検査場一元化により受入時の混雑が予想されるので、受入時間を緩和するなどの対策をお願いしたい。

#### 回答

米主産地として産地指定等の維持のため施設調整米の拡大に伴う効率的な集出荷および仮置等の対応を図るため、本年より所前（紙袋）の出荷・検査を東鷹栖検査場

（東鷹栖7線19号）に集約して対応いたしますが、集荷対策について早朝出荷時間の延長等、柔軟な対応をいたします。

## 金融部

#### 意見

・クミカンの保証の考え方について

#### 回答

クミカン取引にあたっては、毎年営農計画に基づく極度額の設定に合わせて、担保物件に根抵当権の設定か共済契約・定期貯金に根抵当権の設定、又は、連帯保証人の徴求をお願いしています。今回いくつかのご意見をいただきましたが、農事組合内の繋がりととしての考えや個人個々の考えもあり、実態を踏まえると農協が統一した担保・保証を進めることにはなりませんので、クミカン保証方法の変更希望がありましたら個別に対応させて頂きまますので、ご相談下さい。

意見

・燃料の供給に震災の影響はないのか、今後の営農に影響する情報が発生したら随時伝えてもらいたい。

回答

東北地方太平洋沖地震により北海道でも一部精油所で被害がありました。本組合の両給油所を始めホクレン系統の燃料供給にご心配はありません。状況に変化がある場合は速やかにご連絡いたします。

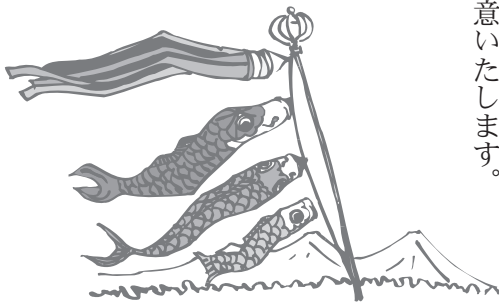
今後も、アロック会員の拡大とメカニックセンター総合利用によるポイント還元など、サービスの向上に努めますのでご利用を宜しくお願いします。

意見

・今年から、東鷹栖地区のオフトーク通信が廃止され、両地区にFAX通信システムが導入されるが、送信文書は内容を吟味し送信願いたい。

回答

新しいFAX通信システムについては、6月1日からの稼働を予定しており、現在利用方法等について検討を進めておりますが、利用者には迷惑のかわらないように十分留意いたします。



## 平成23年度 JAたいせつ田植等農作業料金

田植賃金等作業料金の基準額として参考されます様お願い致します。

作業名		平成23年度基準額	備考
田植料金	基本料金(手植)	時給 700円	
	交通費	実費	
	間食	300円	
水稻播種作業		時給 700円	
機械移植(植付のみ)		5,500円 (移動料2,500円別) ※側条20%増し	10a当り
水田	差苗作業		
	除草作業	時給 700円	
	収穫作業		
畑作、野菜、一般作業		時給 700円	
機械移植(余り苗幹旋) 申し合わせ料金		一箱 200円	箱は洗って返す (消費税は別途)
余り種子		100円/kg	(消費税は別途)

【参考】北海道最低賃金 691円 (労働基準監督署 平成22年10月15日発行)

# たいせつな ここが ポイント! (水稲・畑作編)

## 水稲

天候の変動に十分注意して、育苗中の病害発生や早期異常出穂、移植後の植え傷みがないよう適切な管理に努め、適期に移植しましょう。

### ①育苗管理後半の注意点

(1) 先の水滴は健苗のバロメーター  
早朝、苗の葉先に水滴が付くのは、根が床土にある水分を吸水しているためで健苗な証拠です。(写真-1) 過度のかん水は根がらみが悪くなり、軟弱な苗になってしまいますので注意してください。

### (2) 夕方のかん水は厳禁!

夕方のかん水は、地温を下げるだけでなくムレ苗や立枯病などの病気を起こす原因となりますのでやめましょう。

### (3) 1. 5葉期以降の苗管理

上記の管理に注意しながら、寒さにも強い「ずんぐり苗」に育てましょう。(図-1)

写真-1

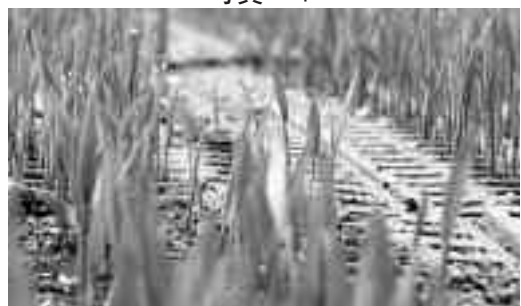
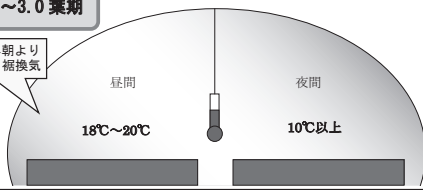


図-1

1回目	1.0~1.5
2回目	2.0~2.5
3回目	移植直前

### 1.5葉期~3.0葉期

晴天時は、早朝より肩・裾換気



- 高温を避けて、徒長防止に努める。
- 早生品種は早期異常出穂の要因となることがあるため、2.5葉期以降は25℃以上の高温にしない。

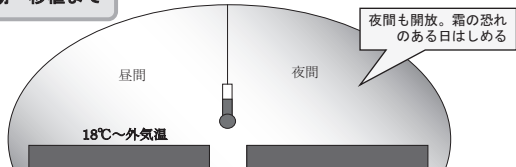
#### 【根の発根を高める】

1~2葉ぐらまでの間は、かん水を控えめにし、根の発育をはかる。

#### 【2.5葉期以降の栄養向上】

適湿に保ち、栄養不足にさせない。  
初生葉や第1葉が黄化したら栄養不足です。マット・ポットとも追肥を的確に行う。

### 3.0葉期~移植まで



- 昼夜とも肩・裾を大きく開放し外気温に苗を馴らす。
- この時期は箱内を適湿に保ち乾燥させない。
- 苗の栄養向上のため追肥を行う。

薬剤名	成分数	使用量	備考
ルーチンアドマイヤー箱粒剤	2	成苗ポット 30g/箱	移植2日前~移植当日に散布し、灌水する。
アドマイヤーCR箱粒剤		マット・型枠 50g/箱	
アドマイヤー箱粒剤			
プリンス粒剤	1	成苗ポット 500倍 300ml/箱	移植2日前~移植当日に灌注する。
アドマイヤー顆粒水和剤		マット・型枠 500倍 500ml/箱	

表-1

(4) 育苗箱処理の病害虫防除  
本田初期害虫(イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ等)やいち病の被害が予想される場合は育苗箱処理の殺虫剤または殺虫殺菌剤を決められた使用量で施用しましょう。少ない使用量では持続効果も半減し、追加防除が必要となりますので必ず守りましょう。  
(表-1)

## ② 本田準備と移植

(1) 初期生育を良くするため、できるだけ水田を乾燥させてから起耕作業を行い、碎土性を高めましょう。

(2) 代かきは水田の均平とともに漏水を防ぎ、土を柔らかくして移植に備えるために行いますが、土を練りすぎると透水性が著しく悪化し、移植時も深植えになりやすいので「碎土は丁寧に、代かきは適度にあっさり」との心構えで行いましょう。

(3) 施肥チツソ量が多いとタンパク含量が高まり、食味は低下します。ほ場毎に適正な施肥をしましょう。また、タンパク含量を低下させるためには、初期生育の促進が必要です。側条施肥や表層施肥などを導入し、初期茎数の確保を図って下さい。

## ③ 移植時の注意点

- I. 移植予定日が低温・強風時の場合は無理に移植せず天候の回復を待つて行いましょう。
- II. 植付けの深さは2cm程度となるよう調整し、第一輯高が埋没しないよう注意して下さい。

III. 移植後の水管理は、移植直

後と低温強風時は4〜6cm程度の水深、苗が落ち着いた2日目以降の晴天日は1〜3cm程度の浅水管理を行って水温・地温の上昇を図り、活着を促しましょう。

また、入水は夕方から早朝に実施し、日中は止水とし、かけ流しは止めましょう。

## ④ 水田除草剤は上手に使いましょう

使用農薬11回成分以内に抑えるためにも初期除草剤の使用はできるだけ避け、止むを得ず使用する場合は、ほ場を限定して使用しましょう。

また、初中期一発除草剤の使用の際は、代かきから移植までの日数を3〜5日間として使用時期を設定していますので、時期を逸さないためにも早めに散布しましょう。

※尚、配布しております「たいせつな育苗のポイント」を参考にしてください。

※「JAたいせつ 栽培基準」を参考に農薬使用成分11回以内を目指し、適切な薬剤散布に努めましょう。

## 畑作編

### ① 小麦

秋小麦の眼紋病対策：秋小麦の連作ほ場や低温・多湿の場合に多発しやすいので、5月上旬の幼穂形成期後に「キンセツト水和剤80」を使用しましょう。

**除草剤散布**：春小麦（初冬まき・慣行）・秋小麦の後期除草剤は、「MCPソーダ塩またはバサグラン液剤」を使用しましょう。尚、使用する場合は高温時に効果が高いことから、気温20℃以上の時に散布しましょう。

(表-2)

品 種	肥料名	分肥量(kg/10a)	
		幼穂形成期 (5月上旬)	止葉期 (5月下旬)
きたほなみ	硫安	20kg	20kg

秋まき小麦の分肥の目安

薬 剤 名		使用時期	10a当り薬量	対象雑草	使用期限
MCPソーダ塩	秋まき小麦	幼穂形成期(春)	300g	広葉雑草	収 穫 45日前
	春まき小麦	麦の5葉期	200~300g		
バサグラン液剤	秋まき小麦	幼穂形成期(春)	100~150ml		
	春まき小麦	麦の5葉期	100~200ml		

表-2

## ②豆類

**ほ場の準備**：収量低下の要因として「出芽不良」や「雑草害」がありますが、これは「砕土不良」が原因と考えられ、出芽や除草剤効果にも大きく影響します。丁寧な砕土作業を心がけましょう。

**酸度矯正**：大豆ほ場の適正PHは、6.0～6.5です。土壌診断を行い適正PHで作付をし、良質な大豆生産に努めましょう。

**適期は種**：は種適期は5月中旬～下旬です。地温10℃以上で出芽期に晩霜の無い時期には種を行います。

6月に入ってからのは種は減収につながりますので、適期は種に努めましょう。また、種後は鎮圧をし、除草剤の効果を高めましょう。

**除草剤散布**：除草剤の効果が収量に大きく影響します。除草剤により使用時期が異なりますので「JAたいせつ 栽培基準（畑作編 8ページ）」を参考に適切に散布してください。

# 青果物 天候不順時の対策

5月の青果物の栽培において「低温・日照不足」「降霜」「高温」といった天候不順が発生した場合、状況ごとの適切な対策・管理に努めましょう。

## 1. 施設野菜

- ・「低温・日照不足」
- ・育苗ハウスの保加温（ジェットヒーターの使用、トンネルの二重被覆、電熱線の利用、不織布の利用）
- ・定植時の地温確保（高畝ベッド、マルチングの実



日照量を確保して成長の促進を。

する  
循環扇などによるハウス内の空気循環

## 「高温対策」

- ・換気によるハウス内温度管理
- ・遮熱、遮光資材の被覆
- ・天窗、妻窓の設置
- ・循環扇などによるハウス内換気
- ・作物の蒸散量に応じてかん水量を調節する（果菜類）

## 2. 露地野菜

### 「低温・日照不足」

- ・トンネル等は裾まで確実に密閉する
- ・キャップや不織布の小トンネルの設置（果菜類）
- ・不織布の小トンネルの設置する（葉菜類）

### 「降霜対策」

- ・パオパオ等べた掛け資材の被覆による保温（スイートコーン、かぼちゃ、大根、人参等）
- ・アスパラガスなどでは早期収穫と霜害にあったものはできるだけ早く撤去する

### 「高温対策」

- ・トンネル等は上方まで開放する

- 施、温水のかん水）
- ・臨機応変なハウスの開閉による夜温確保
- ・ハウス内の温度確保（ジェットヒーター等）
- ・トンネル被覆資材は透明なきれいなものを使用
- ・不織布によるべた掛け・小トンネルの設置（葉菜類）
- ・追肥や葉面散布による生育回復
- ・ハウス内最低気温の確保
- ・透光率の高い資材使用
- ・適切な保温による、最低気温の確保
- ・換気は午前中に行い、気温を確保する

### 「降霜対策」

- ・二重トンネルの使用が必須
- ・ハウス内の温度確保（ジェットヒーター等、加温機のサーモをチェック）
- ・ハウス側面下方等の隙間は塞ぐ
- ・トンネル被覆は早めにかける
- ・加温設備により最低気温を確保する
- ・温度計の設置は成長点の高さにする

## J Aたいせつ青年部 春季交流ボウリング大会

J Aたいせつ青年部では、4月1日、部員25名の参加のもと春季交流会を行いました。

今年はデイノスボウル旭川でボウリング大会を開催し、終始和やかな雰囲気の中で親睦を深めつつも、ストライク、スペアが多発し、ハイスコアを争う姿がありました。

優勝には東鷹栖20区の梶本毅さんが受賞し、部長賞には東鷹栖23区の松木良介さんが選ばれました。ボウリングの後は、場所を移して懇親会を行い、これから忙しくなる春作業や今年の田んぼアートに向けて英気を養いました。



## 手作り看板等製作コンクール 田んぼアートが アート部門最優秀賞

J A青年部のメッセージ発信活動として行われた平成22年度手作り看板等製作コンクールにおいて、田んぼアートがアート部門の最優秀賞を受賞し、4月5日にホテルモントレ札幌で行われた北海道農協青年部協議会第60回定期総会にて、松田直人青年部長が表彰を受けました。

もうすぐ今年度の田んぼアート作業が始まりますが、よりよいものをお見せできるよう地域一体となつて取り組む所存です。



平成22年度田んぼアート

“新鮮”な情報をお届け!



「砂丘らっきょう」

入荷!!

南さつま産「砂丘らっきょう」が今月中旬より入荷いたします。

らっきょうは中国から薬用植物として伝来しました。らっきょうに含まれているアリシンはビタミンB1の働きを活性化し、健骨・殺菌・整腸・発汗・利尿などに効果があるといわれています。

「砂丘らっきょう」はらっきょう漬けはもちろんです、生食用サラダらっきょうなので、マヨネーズ和えやおかか和え、酢みそ和え、そしてかき揚げといろいろな食べ方ができます。

ぜひ一度、召し上がってみませんか!?  
また、直売所店内にはJ Aたい

せつ地域で取れた新鮮な野菜がいっぱい並んでおりますのでご来店お待ちしております。



ほうれん草やアスパラなど旬の野菜が並んでおります。

## 新規出荷者大募集!

組合員なら誰でも出荷できます!  
・ 毎日出荷できなくても構いません。マイペースで出荷できます。  
・ 新鮮な野菜であれば少量品目でも構いません。

少しでも興味をお持ちの方は、直売所までお気軽にご連絡下さい。よろしく申し上げます。

営業時間 10時〜17時  
定休日 毎週月曜日  
TEL 57・2141

# 農業者戸別所得補償制度の 具体的内容について

今年度より導入される戸別所得補償について、各所得補償交付金や、規模拡大加算について、またそれらの申請・交付スケジュールを紹介いたします。

## 1. 畑作物の所得補償交付金

### (1) 趣旨

単収や品質の向上に向けた農業者の努力が反映されるよう、数量払を基本としつつ、営農を継続するために必要最低限の額を営農継続支払として交付します。

8月～9月頃にまず営農継続支払を交付し、その後、出荷・販売数量が明らかとなった段階で数量払の額を確定し、先に交付された営農継続支払の金額を差し引いた額を追加で交付します。

### (2) 交付単価

#### ① 営農継続支払

前年度の成績払の換算面積に基づき2.0万円/10aを交付します。

#### ② 数量払の作物別平均交付単価

表—1参照

表—1 数量払いの作物別平均交付単価

対象作物	平均交付単価
小麦	6,360円/60kg
二条大麦	5,330円/50kg
六条大麦	5,510円/50kg
はだか麦	7,620円/60kg
大豆	11,310円/60kg
てん菜	6,410円/ト
でん粉原料用ばれいしよ	11,600円/ト
そば	15,200円/45kg
なたね	8,470円/60kg

注：小麦については、パン・中華麵用品種（キタノカオリ、はるきり、ハルユタカ、春よ恋）を交付した場合は、数量払に2,550円/60kgを加算

(3) 営農継続支払の交付対象者  
対象畑作物の前年産の数量払（平成22年産は成績払）がある者です。

なお、そば、なたねについては、前年産の出荷・販売実績を証明出来る書類を有する者です。

(4) 営農継続支払の交付対象面積  
営農継続支払は、畑の作付面積を把握できる体制が整っていない地域が多く、共済引受面積の確定が8月以降になる地域も多いことから、数量払の支払い前に営農継続支払を支払うことが困難と考えられるため、当面は前年産の生産面積（農業者の前年産の数量払の対象数量を道平均の実単収で換算した面積）に基づき支払うことにしました。

（注：前年産の数量払の対象数量は、今年の場合には成績払の数量です。）

また、営農継続支払は、数量払の内金として一定額を先払いするものですので、数量払を大幅に超過した金額の交付金を支払うことがないようにする必要があります。そのため、交付対象面積は、

① 対象作物ごとの22年産の成績払の対象数量の換算面積の

合計

② 対象作物ごとの23年産生産数量目標の換算面積の合計を比較していずれか小さい方の面積をしています。

麦、大豆の22年産の換算面積は農政事務所から5月31日までに各農業者に面積通知書（様式第11号）で通知します。

### (5) 数量払の交付

収穫後に出荷数量が確定した段階で、数量払の交付単価を乗じ、既にお支払いしている営農継続支払を差し引いた額を交付します。

## 2. 水田活用の所得補償交付金

### (1) 趣旨

水田で麦、大豆、米粉用米、飼料用米等の戦略作物を生産する農業者に対して、主食用米並みの所得を確保し得る水準の交付金を面積払で直接交付します。

### (2) 交付対象者

販売農家または集落営農が対象です。

### (3) 戦略作物助成

表—2参照（農協や実需者等と

出荷・販売契約等を締結し、出荷・販売することが必要です。)

表一2 戦略作物助成交付単価

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物	3.5万円/10a
米粉用米、飼料用米、WCS用米	8.0万円/10a
そば、なたね、加工用米	2.0万円/10a

(4) 産地資金  
地域の実情に即して、①戦略作物の生産性向上等の取組、②地域振興作物の作付、③備蓄米の生産に取組む農業者に対して支援を行います。

### 3. 米の所得補償交付金

#### (1) 趣旨

米の生産数量目標に従って生産を行った販売農家・集落営農に対

して1.5万円/10aの交付金を交付します。

#### (2) 交付対象面積

交付対象面積は、主食用米の作付面積から、自家消費相当分として一律10aを控除した面積になります。

#### 4. 規模拡大加算

##### (1) 趣旨

農地利用集積円滑化団体を通じて、面的集積された農地に新たに利用権の設定(6年以上)をし、規模拡大した場合に、設定した年度に2万円/10aを交付します。

##### (2) 対象となる農地

戸別所得補償制度の加入者(農地の借り手)が、農地利用集積円滑化団体と協議・調整をして、農地を面的集積するために新たに利用権を設定(設定期間6年以上)した農地が対象となります。

##### (3) 交付対象条件

規模拡大加算の交付対象となるのは、次の①から⑧の要件のすべてを満たす必要があります。

① 存続期間6年以上の利用権の設定であること。

② 新たな利用権の設定であること。  
③ 面的集積(※)された利用権の設定であること。

#### (※) 面的集積の考え方

同一の集積対象者によって経営される2筆以上の農地(農作業受委託は除く)がまとまりを構成しているもの(以下①～⑥のいずれかに該当するもの)をいいます。また、1筆であっても1ha以上の面積を有する農地については、面的集積していることとします。

- ① 畦畔で接続している。
- ② 農道又は水路を挟んでいる。
- ③ 各々一隅で接続している。
- ④ 高低差が農作業に支障がない。
- ⑤ 耕作者の宅地に接続している。
- ⑥ 地域農業再生協議会が一連の農作業を継続するのに適当と認めるもの。

④ 次のすべてを満たす者に対して行われた利用権設定であること。  
ア 耕作の事業に供すべき農地のすべてを効率的に利用して耕作の事業を行うと認められること。

イ 耕作の事業に必要な農作業に従事すると認められること。

⑤ 農地所有者から農地利用集積円滑化団体に貸付先を問わない貸付委任等が行われていること。

⑥ 農用地区域内の農地であること。

⑦ 世帯員の間での設定ではないこと。

⑧ 一戸一人の経営者及びその世帯員の当該法人への利用権の設定ではないこと。

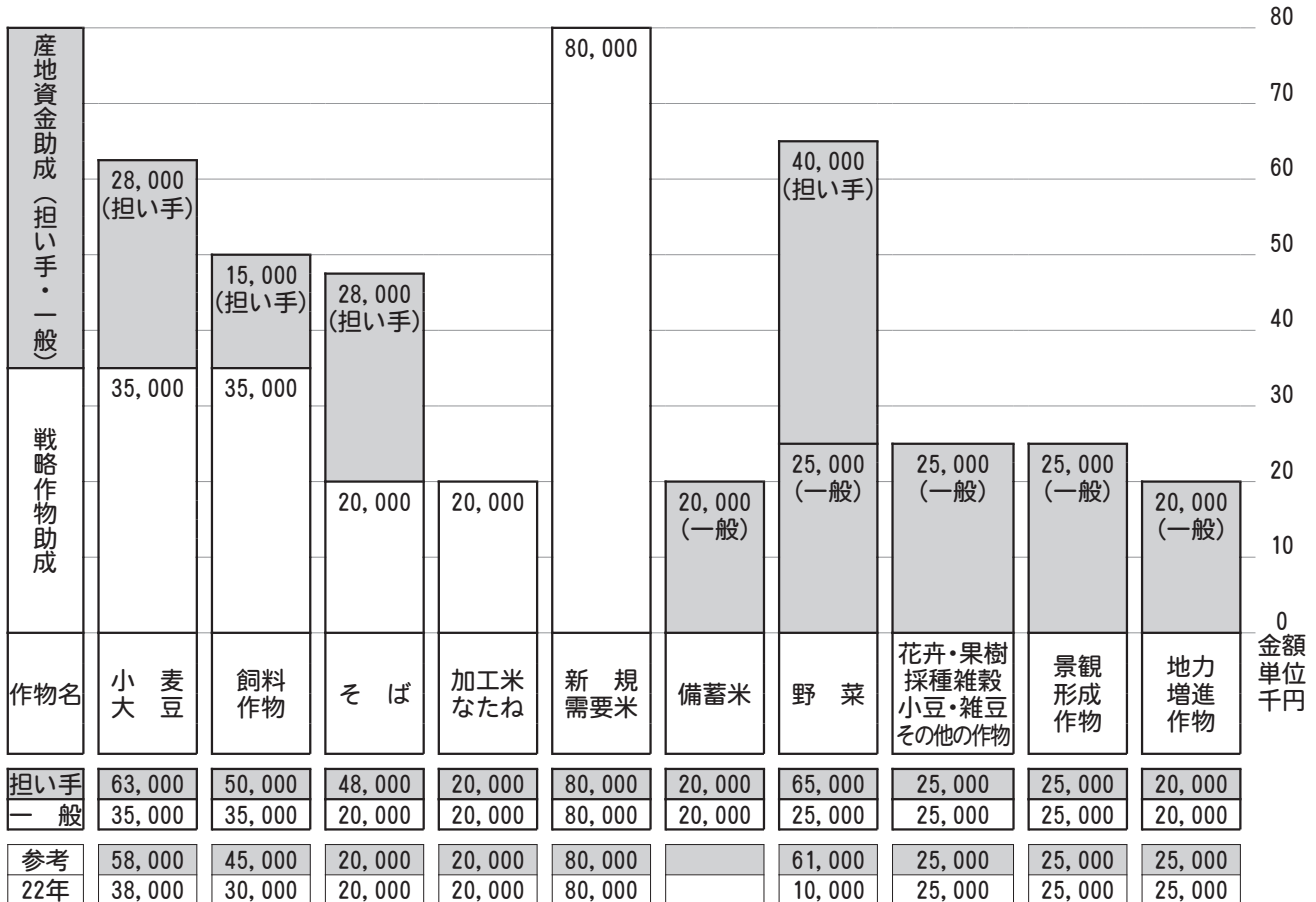


## 各交付金の交付スケジュール（平成23年度）

		23年 4月～6月	7月～9月	10月～12月	24年 1月～3月	4月～6月
畑作物の 所得補償交付金		1. 交付申請書	営農継続支払	第1回目数量払 交付申請⇒ 麦、そば、 なたね	第2回目数量払 交付申請⇒ 大豆、てん菜、 でん粉原料用 ばれいしょ	
	米及び水田活用の 所得補償交付金  米価変動補填 交付金			2. 営農計画書  を提出	現地確認	米の所得補償 交付金 水田活用の所 得補償交付金 (水田の産地 資金含む)
加算 措置	再生利用加算			再生利用加算		
	緑肥輪作加算			緑肥輪作加算		
	規模拡大加算	交付申請時期 (※)に応じて、 規模拡大加算の 支払いを実施	① 交付申請⇒ ① 支払	② 交付申請⇒ ② 支払	③ 交付申請⇒ ③ 支払	
収入減少影響緩和 (ナラシ)交付金	収入減少影響緩和 対策(ナラシ) 加入申請・積立 申出書を提出	積立金納付				交付申請⇒ ナラシ 交付金

※規模拡大加算の交付申請時期は①8月末、②11月末、③2月末までになります。

## 平成23年度 水田活用の所得補償交付金体系図



\* 担い手は、地域水田農業ビジョンの担い手です。

## JA共済からのお知らせ

～平成 23 年 4 月実施の建物更生共済の仕組改訂について～

平素はJA共済をご利用いただき、誠にありがとうございます。

JA共済では、平成 23 年 4 月に建物更生共済の仕組改訂を行い、保障内容を拡充しました。この改訂は、**平成 16 年 4 月 1 日以後を契約日とする建物更生共済「むてき」契約**についても**共済掛金の変更なく適用**されます。



### 風災・ひょう災・雪災の場合

風災、ひょう災および雪災による損害について、従来、損害割合が 3%以上または損害の額が 20 万円以上の損害が生じた場合に自然災害共済金をお支払いしていましたが、平成 23 年 4 月 1 日以降の風災、ひょう災および雪災の場合は、損害割合が 3%以上または損害の額が **5 万円**以上の損害が生じた場合に自然災害共済金をお支払いします。

(平成 23 年 3 月 31 日以前の罹災)

#### 風災・ひょう災・雪災の支払要件

- 損害割合が 5%以上の場合
- 損害割合が 3%以上 5%未満の場合 (床下浸水を除きます。)
- 損害の額が **20 万円**以上の場合



(平成 23 年 4 月 1 日以降の罹災)

#### 風災・ひょう災・雪災の支払要件

- 損害割合が 5%以上の場合
- 損害割合が 3%以上 5%未満の場合 (床下浸水を除きます。)
- 損害の額が **5 万円**以上の場合

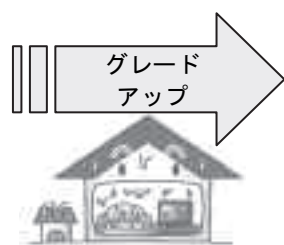
### 水災の場合

残存物とりかたづけ費用共済金について、従来、罹災原因を火災等、風災、ひょう災または雪災に限定していましたが、平成 23 年 4 月 1 日以降の**水災**によって損害が生じた場合についてもお支払いします。(1 回の事故につき、自然災害共済金の額の 10%限度)

(平成 23 年 3 月 31 日以前の罹災)

#### 残存物とりかたづけ費用共済金を支払う罹災原因

- 火災等
- 風災
- ひょう災
- 雪災



(平成 23 年 4 月 1 日以降の罹災)

#### 残存物とりかたづけ費用共済金を支払う罹災原因

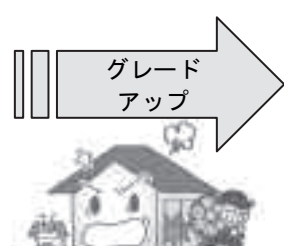
- 火災等
- 風災
- ひょう災
- 雪災
- **水災**

### 盗難の場合

盗難によって損害(盗取、損傷または汚損)が生じた場合、従来、防犯装置の設置などの盗難再発防止のための費用は自己負担となっていたが、平成 23 年 4 月 1 日以降の盗難によって損害が生じた場合で火災共済金または通貨等盗難共済金の支払事由となったときは、これらの共済金とは別に、共済期間中 1 回に限り、**定額 5 万円の盗難再発防止費用共済金**をお支払いします。

(平成 23 年 3 月 31 日以前の罹災)

#### 盗難再発防止のための費用



(平成 23 年 4 月 1 日以降の罹災)

#### 盗難再発防止のための費用

盗難再発防止  
費用共済金  
**5 万円**



ご不明な点については、ご加入先の JA までお問い合わせください。

お問い合わせは JAたいせつ 共済係

[本所]57-2311 [鷹栖支所]87-2121



## 理事会からのご報告

平成二十三年三月二十四日第十七回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

一、農協事業懇談会の開催について

平成二十二年年度決算並びに平成二十三年度計画等について、農事組合・町内会の懇談会を三月二十七日より三十一日の五日間で実施することで承認されました。又、農事組合活動費の支出について承認されました。

二、JAバンク利用者保護等管理規程の一部改正について

金融ADR制度のより厳格な運用のためのJAバンク利用者保護等管理規程一部改正について原案通り承認決定されました。

三、「余裕金運用等に係るリスク管理手続き」に定めている「重要な運用方針・リスク管理方針」の決定について

「余裕金運用等に係るリスク管理手続き」に基づく重要な運用方針・リスク管理方針について原案通り承認されました。

四、鷹栖町米麦改良協会役員の推

薦について

鷹栖町米麦改良協会理事に松原剛志代表理事専務を推薦すること承認されました。

五、東北地方太平洋沖地震のJAグループ支援募金について

三月十一日に発生した巨大地震や津波により、大きな被害を受けた東北の被災県並びに道内の被災漁業団体支援のため、JAグループ北海道の支援募金活動に取り組むことが承認されました。

## 「たいせつ」のあゆみ

4月

4月6日 企画会議

4月8日 農事組合長・町内会長会議

4月15日 第18回理事会

4月22日 第19回理事会

4月27日 第8回通常総代会  
第1回理事会

4月23日 監事会

4月27日 春の園芸市（～24日）  
水田農業推進協議会総会

4月29日 春の園芸市

## よい食クイズ

Q 「キャベツを漢字で書くと「甘藷」である。ウソ？ホント？



A ウソ。

普段、漢字で書く機会はないですが、キャベツ「甘藍（かんらん）」と書きます。ちなみに「甘藷（かんしょ）」とはサツマイモのことです。

※出展：「みんなのよい食プロジェクト」ホームページ「知ってトクする『よい食』ドリル」を基に作成

## 編集後記

今回、青果物の栽培における天候不順時の対応について紹介しました。出荷される方も自家野菜を栽培されている方も参考になれば幸いです。

## 職員採用紹介

組合員の皆様

よろしくお願い致します。  
(5月2日付採用)

遠藤 里江 (嘱託職員)

(鷹栖支所管理金融課  
管理・融資経営相談係)

## 最新の営農技術から 農畜産物の市場見通まで

購読のお申し込みはJAへ  
定額1か月 2,450円

日本農業新聞  
http://www.nogyo-shimbun.co.jp

